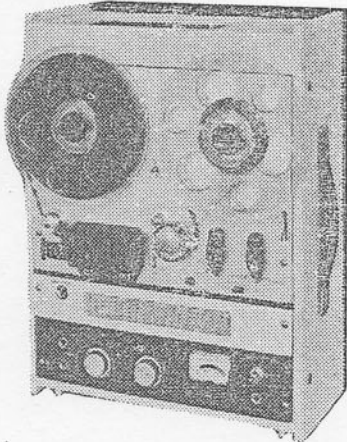


国内新製品紹介

アカイのテーブ レコーダー “707”

本機はデラックス 707 と呼ばれ、テーブ・スピードは 19cm/秒と 9.5cm/秒で、この切換には新機構“スライド・キャプスタン方式”を採用している。つまり 19cm/秒 から 9.5cm/秒に切換えるにはレバーを下げると中からそれ用のキャプスタンがスライド・アップされて出てくるようなスライド・プッシングを使っている。サイクル切換えもデッキ上面からドライバーで簡単に行える。また自動電源停止スイッチを“ON”にしておけばテーブが終了時には自動的にすべての電源が切れて停止する。主な規格を列記すると、使用リールは 7 型まで、周波数特性は 30~12000 c/s (19 cm/秒)、40~9000 c/s (9.5cm/秒) いずれも $\pm 3\text{dB}$ 。ワウ・フラッターは 0.15% r. m. s. 全高調波歪は 1.5% 以下。出力は 5W、スピーカーは 16.5cm (インピーダンス 50k Ω)、録音レベルには横置 VU メーターが使われている。モニターはクリスタル・イヤホンで行える。消費電力は 55W である。外形寸法は 339×436×228 (mm) で、重量は 17kg である



東京都大田区能谷町 3 の 883
Tel: 741-1426~9)

赤井商事 K. K.

トリオの新製品 2 種

●FM マルチ用アダプター “AD-5”

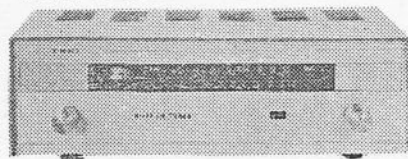
いよいよ本格化してきた FM のステレオ放送、FCC 方式 (AM-FM) のためのアダプターで、マトリックス回路には同社の開発した CCM 方式の回路を採用して 400c/s で 39dB というステレオセパレーションを得ている。また FM 局を簡単に探せるステレオ・モニター装置 (これも特許申請中) もついている。使用真空管は 7247, 6AU6, 12AX7, ダイオード 5 個で、総合歪率は 0.6% 以下 (400c/s)、利得 1:1、残留キャリアー -40dB 以下 (出力 2V)、使用入力電圧 0.2~3V (複合波 90% 変調時) と

なっている。メイズ・フィルターやディメンション・コントロール回路もついている。外形寸法は幅 172×高さ 116×奥行 194 mm で、重量は 2.8kg である



●球つき FM チューナー・キット “FM 101 K”

誰にでも簡単に作れるようなチューナー・キットが発売された。球つきで主要部品は取付けられているので、ハンダづけをしてちょっと調整すればすべて OK である。トリオのフロント・エンド・バックを使用し、リミッター 1 段、高級インジケータなどがついていて、高級機として通用するものである。なお中間周波数の帯域幅が広く設計されているから、アダプターをつけてステレオ放送を受信した時の特性もよい。内容は 6AQ8, 6BA6×3, 1N60×2, 3FS1, 1S48 を使っていて、受信周波数は 76~90 Mc である。感度は 2.5 μV (84Mc, S/N 20dB)、歪率は 1% 以下 (100% 変調にて)。出力電圧は 2V (500 μV 入力, 100% 変調)、イメージ比 30dB 以上, S/N 60dB 以上、入力は 300 Ω 平衡型である。外形寸法は幅 301×高さ 101×奥行 175 (mm) で、重量は 3.4kg である。現金正価は ¥ 8,950。



(東京都大田区調布千鳥町 74
Tel: 751-7121)

トリオ K. K.

ソニーの新製品 3 種

●FM/AM ポータブル・ラジオ “TFM-96J”

小型ながら FM 放送まで聞けるもので、FM 用には把手に組込まれたロッド・アンテナ (85 cm) を使う。使用トランジスターは 9 個である。最大感度は AM: 40dB, FM: 19dB (50 mW 出力時)。出力は無歪 260mW, 最大 470 mW。スピーカーは 10×6.5cm の楕円型である。FM の RF 増幅にはマイクロ TV 用

のメサ・トランジスターを、FM-IF 3 段はメルト・ディフュージョン型 3 個が用いられ感度を上げている。出力回路は OTL。電源は単三×6 の 9V。外形寸法は 92.5×190×46 (mm) で、重量 657 gr。現金正価は ¥ 12,500。



●7 石 2 バンド・ポケットブル “TR-731”

530~1605kc と 3.9~12Mc の 2 バンド・ラジオである。スピーカーはこの種のセットとしては大口径 (65 ϕ) のキノコ型がついている。出力段はやはり OTL である。回路としてはダブル AGC やファイン・チューニングもついている。外形寸法は 64×124×40 (mm) で、重量は 250gr。現金正価は ¥ 8,300。

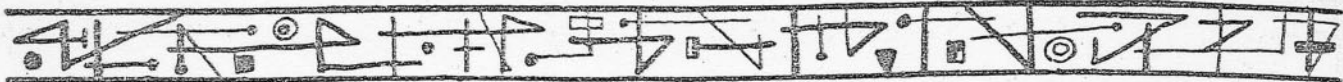


●電気式回転計 “JD-2”

ソニー・ドライバーメーター JD-2 は、可動線輪型広角メーターを使用したスポーツ・カー・タイプの電気式タコメーターである。エンジンの回転数は 0~7000 rpm まで測れる。精度は 3000 rpm において +15%, -5%



以内 (-10°C~+60°C)。全目盛角度は 250°。照明ランプつきであるから夜間のドライブにも使える。アース極性が +、- いずれの車にも共用できる。これをダッシュ・ボードに取付ければスポーツ・カーの気分が出るといふわけ。外形寸法は 100 ϕ , 奥行 90mm。取付孔径は 89 ϕ 。標準適合エンジンは 4 サイクル 4 気筒。電源電



圧は 12 V, 重量は 1 kg である
 (東京都品川区北品川 6-350
 Tel: 442-5111)

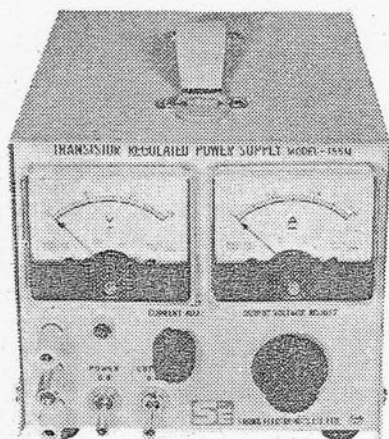
ソニー K. K.

昭和電子のハンディ・ パワー・サプライ

“T-155M, T-305M, T-355M”

これは自動的に復帰する過負荷保護回路を自蔵する直列制御形式のオール・トランジスター安定化電源である。小型、軽量、低価格ながら独立した出力電圧計, 出力電流計を有し, 回路的にも特長のあるものを採用している。定電流電源として利用でき, 蓄電池, 乾電池の代用として種々の用途に利用できる。

T-155M は出力電圧 0.5~15 V, 出力電流 0.6 A, 電源電圧の変動に対し ± 20 mV 以下, 負荷全変動に対して 20 mV 以下, リップル 3mV rms 以下, 価格は ¥ 19,000



あとは出力のみが, T-305M は 0.5~30 V, 0.6 A (¥ 38,000), T-353M は 0.5~36 V, 0.4 A (¥ 27,000) である。

(東京都中野区八鳥町 2 Tel: 381-3278)

昭和電子工業 K. K.

サトウの波型スイッチ

スイッチ
 に関してあまり品種が多くなかった佐藤部品 KK では, 最近この方面にも力を入れている。写真の波型スイッチは製品番号 No 7505 で, 定格電流は AC 250 V, 6A, 接触抵抗は DC 3V, 1A 通電, 0.005Ω 以下。絶縁電圧は AC 2,000V 1分間で異常なし。絶縁抵抗は DC 500 V, MΩ 計で 100 MΩ 以上。取付寸法は穴 3 mm タップ, 42 mm 間隔取付である。



(東京都渋谷区恵比寿通り)

佐藤部品 K. K.

ラックスのオール Tr

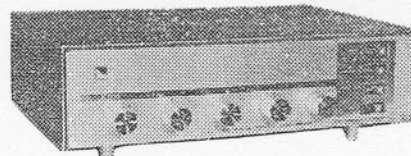
ステレオ・アンプ

“SQ-11”

使用トランジスターは 2SB173×6, 2SB171×2, 2SB345×2, 2SA281×2, 2SB178A×2, 2SD178A×2, 2SB250A×4 に, ダイオード SE1.5a×2, SV-1×4 で, 終段は OTL (出力抵抗は 4~16Ω), 出力は 20W×2 (4Ω), 16W×2 (8Ω), 10W×2 (16Ω) である。入力は 1000 c/s において下記のとおり。

TAPE MAG TUNER XTAL
 [Z] 50 kΩ 50 kΩ 1 MΩ 500 kΩ
 [感度] 4 mV 4 mV 500 mV 250 mV
 (16 Ω 負荷時 10 W 出力)

歪率は 0.8% (32W/8Ω), 0.9% (20W/16Ω), トーンコントロールは 100c/s, 10kc にて ± 10 dB (NF 型)。その他録音用出力端子, ランプル・スクラッチ・フィルター, ラウドネス・コントロール, リバース・アンプなどがついている。外形寸法は幅 316×高さ 83×奥行 209 (mm) で, 重量は約 5.5kg。定価は ¥ 32,000



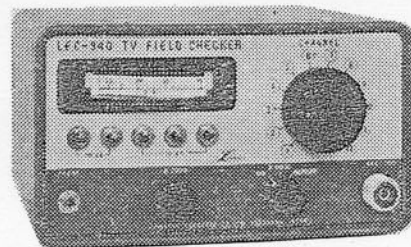
(大阪市西成区長橋通 2 の 22)

ラックス K. K.

リーダーの TV 電界強度計

“LFC-940”

オール・トランジスターの TV 用電界強度の測定器で, 商用電源のない山間僻地などの弱電界地域における電界強度の測定により, 受信機の選定, アンテナの選定などに便利である。受信周波数はテレビの 12 チャンネル (ターレット切替), 受信入力範囲は 10 μV~300 mV。出力計目盛は 20~40 dB (1 dB 間隔), 30 dB 以下 (2 dB 間隔)。入力インピーダンス 75 Ω 不平衡, 総合利得は 80dB 以上。選択度は 3dB 低下点において ± 150 kc, 較正用減衰器は 20 dB×2, 10 dB×3。測定精度は ± 2 dB 以内。電源は乾電池により 12 V。外形寸法は 180×100×120 mm, 重量は約 2 kg である。



(横浜市港北区綱島町 850)

大松電気 K. K.

オンキョーのポリスチレン・ ペーパーコーン使用のウーファ

従来の木材パルプを原料とするファイバー・コーンを脱却して, いよいよポリスチレン・ペ

ーパーを使った新製品が出てきた。今年の国際見本市にて発表されたもので, 密度がきわめて小さく, 従って質量も従来の紙にくらべて 1/8~1/10 程度であるため, 能率は増大し音響出力も大きくなっている。さらに成型の容易さ, 吸水性がきわめて小さいなどスピーカーのコーンとして有望なものである。従ってこのウーファの周波数特性, 過渡特性など非常によい。



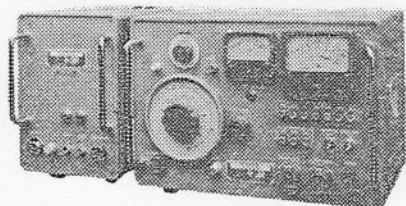
(大阪市旭区大宮西之町 5 の 32)

大阪音響 K. K.

目黒電波の FM/AM 広帯域直線検波器

“MDA-450A”

本機は短波より超短波帯まで (20 Mc~230 Mc, および 10.7 Mc) における FM 送信機, 中継器など各種無線機器の周波数偏移, 変調歪, S/N, AM 含有率および変調周波数特性などの測定に用いるものである。これらの測定目的は押ボタン・スイッチにより切換えられる。入力インピーダンスは 50 Ω 不平衡型。中間周波数特性 10.7 Mc (± 500 kc/-3 dB) である。電源安定度は 100 V ± 5 V の変動に対し出力レベル変化は 0.1 dB 以下である。使用真空管は 18 本, トランジスターは 4 個である。電源部と本体は分れているが, 本体 (写真の右側) は 420×280×250 mm で, 重量は約 13 kg である。



(東京都目黒区上目黒 5 の 2658)

目黒電波測器 K. K.

藤木のロクホーン “E-61A”

これは従来のものと異なりプラグ・ジャックの先端にリード線が 2 本ついてるので, どのメーカーのテープレコーダーにも使用で





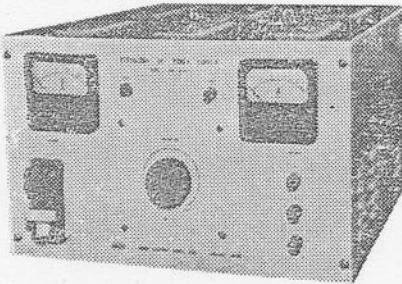
きるように配慮されている インピーダンスは 16Ω, 600Ω, 再生周波数帯域は 50~5000 c/s, 許容入力 0.5W, コードの長さは 1.5m, 全重量は 126 gr である。

(東京都大田区池上町 98
Tel: 729-0101~5)

藤木電器 K.K.

星電機のSCR式直流安定化電源 “SDS 10-10”

制御整流器(SCR)を使用して整流と制御を同時に行う方式の直流安定化電源で、電力の消費が少なく、トランジスタ制御方式に比較して高い電圧と大きな電力が容易に得られ価格が安くなる。電圧可変範囲は、1~100V までを一操作で連続に変化できる。過電流防止は電子的に行い、出力が短絡しても安全である。出力端子はアースと絶縁されているので、任意の極性の電圧を得ることができる。トランジスタ回路の実験、蓄電池の充電およびその代用、各種機器の電源等広範な用途がある。主要規格は出力 DC 1~100V・0~10A, 脈動率 0.1V RMS 以下, 応答速度 0.2~0.8 秒, 入力 AC 1φ 90~110 V, 50/60 c/s, 外形寸法は高さ 300×幅 480×奥行 495 mm, 重量約 75 kg である。



(川崎市小杉御殿町 2 の 29
TEL: 0447-2 9161~4)

K.K. 星電機製作所

ニートの新製品 3 種

● プロフェッショナル 4 スピード・ステレオ・プレーヤー “NP-801”

モーター・パネルを必要最小限に省略し、従来のものの 1/4 の面積にしている(この部分だけ単体としても売出している)。ターンテーブルは 30 cm アルミ合金鋳物製で、モーターにはヒステリシス・シンクロナス型を使って、全く性能本位に設計されている。PU はカートリッ



ジと一体になった構造で、2 gr の軽針圧でも動作する。また針圧の加え方は従来のものと異なり、重力プラス磁気により通常のスタティックバランス・アーム以上のドレズ性能をもっている。カートリッジは 4 ポール 4 コイルのムービング・マグネット型で、出力は 5 mW である。S/N は 45 dB, ワウは 0.25% 以下である。現金正価は ¥ 24,600。

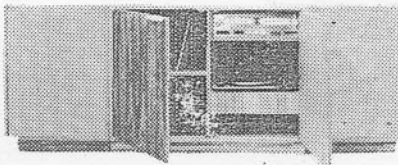
● プロ用 4 スピード・ステレオ・プレーヤー “NP-501”

環取コイル型 4 極インダクション型のモーターを使ったもので、4 スピード、速度の微調は 15% マグネチック方式である。ターンテーブルは 25 cm アルミ・ダイキャスト製、トーンアームは 30 cm ダイナミックバランスのパイプ型である。カートリッジはステレオ・ムービング・マグネット型である。レスポンスは 30~19000 c/s, 出力電圧は 6 mV (1000 c/s), S/N 45 dB 以上, ワウ 0.3% 以下である。針先は 0.7 ミル・ダイヤモンド針, 針圧は 3~5 gr, クロストークは 30 dB (1000 c/s) となっている。現金正価は ¥ 24,000



● パーフェクション・ステレオ・システム “NS-71”

家庭用のデラックス・ステレオ・システムである。チューナーは中波のステレオに、短波、FM もきけるようになっている。16 球+6 石のアンプを使っている。プレーヤーはムービングコイル型のカートリッジとヒステリシス・シンクロナス・モーターを使ったもので 3 スピード、ターンテーブルは 35 cm アルミ合金ダイキャスト製である。アンプ部は 12 W×2 の出力をもち、NFB または MFB のいずれでも切替えても使える。スピーカーは低音が 30 cm, 中音用ホーン, 高音用ホーン・トイーターの 3 ウエイである。周波数特性は 40~21,000 c/s となっている。現金正価は ¥ 198,000。

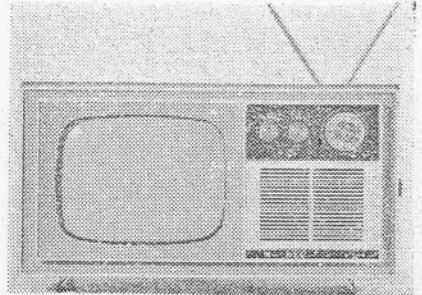


(東京都千代田区神田旅籠町 1 の 4)
ニート音響電機 K.K.

NEC の 8 型ポータブル受像機 “8-P2”

真空管式 (B 管ともて 12 球+ダイオード 6

個) であるが、8 型のポータブル・テレビである。幅 426×高さ 215×奥行 289 (mm) の木製キャビネットに収められ、重量は 8.7 kg という。コンパクトなパーソナル型である。音声出力は最大 500 mW, スピーカーは 10 cm 丸型, 消費電力は 120 W, アンテナは V 型のロッド・アンテナを内蔵しているが、条件の悪いところでは外部アンテナをつなく、イヤホンで聞くこともできる。現金正価は ¥ 39,500。

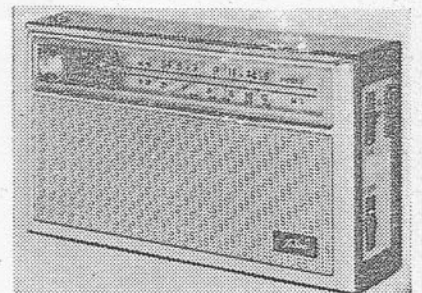


(東京都千代田区丸の内 1 の 8 新住友ビル内)
新日本電気 K.K.

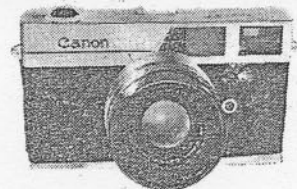
東芝の新製品 2 種

● 7 石 2 バンド・ラジオ “7P-1405”

7 石+2 ダイオードの 2 バンド・ポータブルで、受信幅のせまい短波もインジケーターと微同調装置で簡単に受信できる。ハイエス・シリーズの一つである。スピーカーは 5.5×8 cm, 7 段ロッド・アンテナ自蔵, 電池は単三×4 で外部



カメラの通信販売



キャノネット

- 2 カ月分まで使えます。1 カ月の掛金
 - 1 カ月の掛金 ¥ 2,160
 - 現金正価ケース付 ¥ 20,500
- カタログご希望の方は 50 円同封の上無線係へ。

⑤ サンカメラ

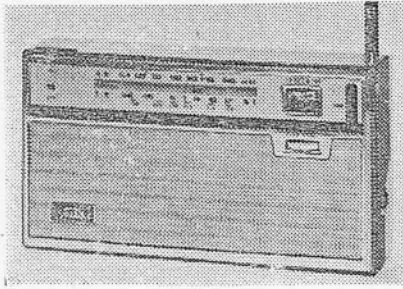
市川市市川局区内 TEL 市川(2)6027
取引銀行 三菱銀行市川支店
振替 東京 8 8 2 4 9 番



電池用ジャックもついている。外形寸法は幅150×高さ84×奥行38(mm)。現金正価は ¥9,400

●8石2バンド・ラジオ“8M-350S”

高周波増幅つきの2バンド・ポータブルで、弱電界地区において威力を発揮するハイエス・シリーズである インジケーター、微同調機構がついていて、9cm スピーカーが入っている。アンテナは10 段切伸し式のロッド・アンテナイヤホンおよび PU 端子がついている。電源は単 2×3 個である 外形寸法は幅 203×高さ 108×奥行 45 (mm) 現金正価は ¥12,000

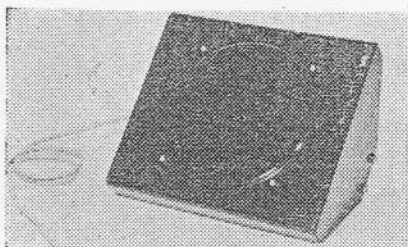
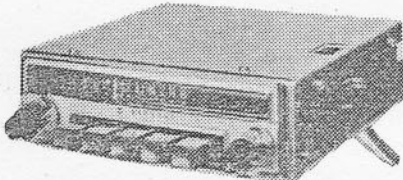


(東京都中央区銀座西)

東芝商事KK

日立のユニバーサル型
カー・ラジオ“TM-719”

これはどの種類の車にも取付けられるカー・ラジオで、日立のドリフト・トランジスター3本を使用してビル谷間や山間地でも充分にきける。最大感度は約 15 dB、出力 5 W スピーカーは 16 cm のものが外つきケースに入っている。自動車用のロッド・アンテナも附属している。消費電流は無信号時に 150 mA、外形寸法は幅 160×高さ 50×奥行 170 (mm) で重量は 1.8 kg である。なお電源は 12 V バッテリーでアース極性の切替スイッチつきである。



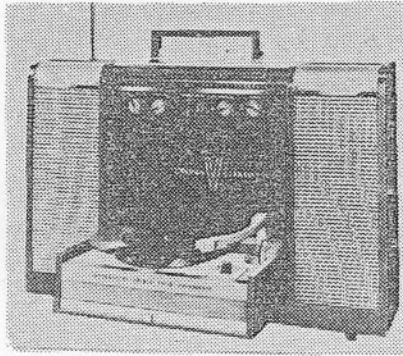
(東京都千代田区大手町 新大手町ビル)

KK 日立製作所

クラウンのポータブル・ステレオ・フォノグラフ“SPH-100”

2 バンド・チューナーと 3 スピードのステレオ・プレーヤーを組合わせたポータブル・セットである。ポータブルとはいっても相当大型で、外形寸法はプレーヤー部を閉じたとき横 660×高さ 406×奥行 135 (mm) で、重量は 9.6 kg である。ただしスピーカーは 10.2×15.2cm の

楕円形のが 2 個入っている。使用トランジスターは 4 石でダイオードも 4 石である。受信周波数帯は 535~1605 kc と 6~18 Mc である。出力は最大 700 mW×2、無歪 400 mW×2。プレーヤーは 3 スピードで、PU はセラミック・ステレオ型、ターンテーブルは 16.5 cm、モーターは特殊 DC モーターである。アンテナは 6 段引伸ばしのロッド・アンテナ 電源は単一×6 の 9 V である。専用の AC アダプターで AC 100 V でも使える。現金正価 ¥ 33,600

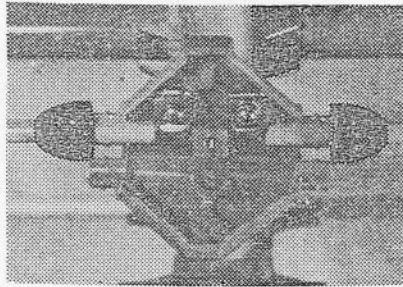


(東京都台東区東黒門町 3)

クラウンKK

マスプロのアンテナ饋電部
ブラケット

同社ではかねてアンテナ饋電部の構造を研究中であったが、このほど写真のようなブラケットを発売した。つまり従来の G 型、R 型のアンテナ・ダイポールが水平型であったのを垂直型に変更したもので、完全密閉型 (防水、防湿) フィーダー断線防止装置内蔵、ハンダ付不要のものである。



(名古屋市熱田区沢下町 82)

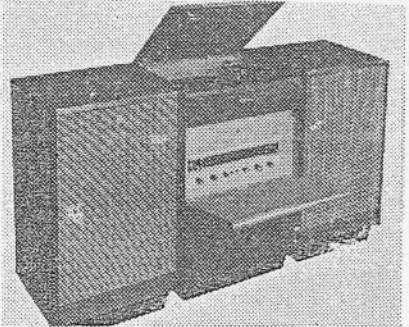
マスプロ電工KK

トリオの新製品 2 種

●ステレオ・コンポーネント
“ST-820”

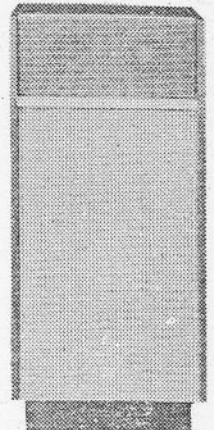
心臓部のアンプはトリオ W-36 型である。これは 6BM8×4, 6AQ8×3, 12AX7×2, 6BE6×2, 6BA6×4, 6G-E12A の計16球にダイオード 5 石で、MW が 2 チャンネル、FM 1 チャンネルのチューナーがついている。出力は最大12W×2、無歪 10 W×2 で、周波数特性は 20~50,000 c/s が ±0.5 dB 以内となっている。プレーヤーは 4 極インダクション・モーターにムベビング・マグネット PU (ダイヤ針) の組合わせて 4 スピードである。スピーカー・システムは 20 cm ウーファー、7.5 cm スコーカーホン型トウィーターが左右についている。外形

寸法は幅 1440×高さ 800×奥行 410 (mm) で、重量は 50 kg である。現金正価は ¥ 111,300



●SP システム“SC-5”

低音用に 20 cm ウーファー、中音用に 7.5 cm のスクーカー、高音にホン型トウィーターを配した 3 ウェイで、クロスオーバー周波数は 1,250 c/s と 5,000 c/s、再生周波数帯は 45~18,000 c/s。インピーダンスは 16 Ω 最大入力 10 W である 外形寸法は幅 350×高さ 780×奥行 300 (mm) で、重量は 12 kg である 現金正価は ¥15,000



(東京都大田区調布千鳥町 74)

トリオ商事KK

ナショナルのホーム・ステレオ
“SE-1600”

チューナー部は MW: 535~1605 kc と FM: 76~90 Mc の 2 バンドである。使用真空管は 12DT8, 12BE6, 12BA6, 12AX7, 30MP23×2 で、トランジスターは 2SB-173 が使われている。出力は最大 2.5W×2、無歪 2W×2 で、スピーカーは 16 cm 型が 2 個。VC インピーダンスは 8 Ω、許容入力は 3 W である。プレーヤーはオートリターン方式の 4 スピードで、モーターはハイシンクロ型、ターンテーブルは 20cm PU はターンオーバー型セラミック、針圧は 6 gr である。消費電力はプレーヤーを使って 52 W。外形寸法は幅 728×高さ 725×奥行 371 (mm) で、重量は 16.3 kg である。現金正価は ¥ 36,800。



松下電器・ステレオ事業部